

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	D8	回戦	男子2回戦
種別	中学生	会場	富士見市立市民総合体育館		

Aチーム			Bチーム		
桔梗（北海道）			西中原（神奈川）		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	13	前半	13	26	
	7	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

両チーム気合の入った挨拶で入場し、桔梗スローオフで試合開始。桔梗6番のスピードに乗ったサイドシュートで初得点。対する西中原も6番のサイドシュートで得点。序盤は桔梗2番の広い歩幅のステップから大きくDFをかわしたシュートで得点を決めるなど、桔梗ペースで展開。さらにカットからの速攻と得点されてもリスタートで得点を重ね点差を広げていく。対する西中原は、桔梗の高めのDFに苦戦するも、持ち前の力強さで押し込み始める。そのDFの段差を2番のカットインをきっかけに崩す。15分で10-6と桔梗リード。19分、西中原1番キーパーのナイスセーブから10番のDFを置き去りにする速攻で得点し、会場を大きく盛り上げた。前半終了間際、西中原またも10番の速攻で同点に追いつき前半終了。

後半早々、桔梗が得点しリードするも西中原9番のカットインからの得点で同点に追いつき、15-15。両チームとも得点が止まった12分、西中原6番の速攻から得点するも、直後に10番が退場。一進一退の攻防が続く中、残り5分となったところで点数が大きく動き始める。西中原の早いパス回しから5番のカットインで点差を広げる。桔梗も足を止めることなく西中原ゴールを脅かしたが、22分4点差となった所で桔梗がタイムアウト。しかし逆速攻から西中原8番の速攻でダメ押しの5点差となる。桔梗も最後まで食らいつくも、20-26で試合終了。

記載者名

島本 桃太